*2019年7月（新様式第２版）（新記載要領に基づく改訂）　　認証番号：第15700BZZ01118000号
2008年4月4日作成（新様式第１版）

歯科材料０１　歯科用金属
管理医療機器　歯科メタルセラミック修復用貴金属材料　JMDN 70770000

タイガーボンド５０

【禁忌・禁止】
本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
［形状］
ショット状
［構造］
成分・分量

成分	分量
パラジウム	３９％
金	４９％
インジウム	５％
その他	６％以下

*［参考情報］
該当規格：JIS T6118「歯科メタルセラミック修復用貴金属材料」（タイプ２）

溶融温度（℃）	液相点	1230
	固相点	1220
耐力(MPa)		647
伸び(%)		2
ヤング率（GPa）		155
熱膨張係数（K^{-1}）		13.3×10^{-6}
はく離強さ（MPa）		45
比重		13.3

***【使用目的又は効果】**
［使用目的］
歯科メタルセラミック修復物の作製に用いる。
［用途］
フルクラウン、ロングスパンブリッジ

***【使用方法等】**
(1) パターン
①ワックスパターンの厚みは0.3㎜以上にしてください。
②スプルー線は直径1.5㎜以上のものを付けてください。
③湯溜りとワックスパターンとの距離は2㎜以下にしてください。
④ワックスパターンとスプルー線の接合部に直径約 0.6㎜、長さ10～15㎜ のチルベントを付けることにより良好な鋳造体を得ることができます。
(2) 埋没、焼却
①良質のクラウン・ブリッジ用リン酸塩系埋没材を使用してください。
②湿アスベストリボン(0.8～0.9㎜ 厚)、又はセラミックリボン（カオウールなど）を１枚リング内に巻いてください。
③ワックスの焼却は通法により行い、リングを800℃で30分以上係留した後に鋳造してください。
④カーボンを含む埋没材を使用した時は、十分にカーボンを焼却してください。
(3) 鋳造
①融解は、酸素－都市ガスの混合炎で容易にできます。ただし、できるだけ短時間で融解してください。
②フラックスは使用しないでください。
③石英棒で溶湯をつつき、抵抗がなくなった時にキャストしてください。
④ルツボは専用のものを使用し、異種金属が絶対に混入しないようにしてください。又、ルツボにはアスベストを敷かないでください。
⑤黒鉛ルツボは絶対に使用しないでください。
⑥オーバーヒート（溶湯が白くなってくる）は、絶対に避けてください。
⑦鋳造後、リングは急冷しないで大気放冷してください。
(4) メタル調整
カーバイドバー又はセラミックポイントの使用をおすすめします。カーボランダムポイントは絶対に使用しないでください。
(5) アルミナサンドブラスト処理
粒径約 50 ミクロンのアルミナ（東京歯科産業、ホワイトモランダム）で表面が均一な灰白色になるようにペンシルサンドブラスト処理をしてください。その時の圧力は３～４kgf/㎠にしてください。エアーブラシは用いないでください。その後、蒸留水で超音波洗浄を５分間行ってください。
(6) ディギャッシング
大気中980℃で５分間係留してください。
(7) 陶材の築盛・焼成
①オペークの練和は必ず蒸留水で行ってください。粘度の高い液を用いますと、陶材の強度・溶着力が低下し、トラブルの原因となります。
②オペーク築盛前に、メタル表面をあらかじめ蒸留水でしめらせておいてください。
③オペーク築盛は、必ず筆で行い、しかもメタル表面にすり込むようにしてください。
④陶材のコンデンスはバランスよくしっかり行ってください。
⑤オペークは２回焼成をおすすめします。
※当社のゴールドボンディングエイジェントを使用しますと溶着力が上昇し、又内部応力が緩和されますので、亀裂・剥離等のトラブル防止に有効です。
(8) ろう付
①前ろう付
タイガーボンド50用前ろう材又はSFろうを使用してください。
※ディギャッシング時に温度があがりすぎないように注意してください。
②後ろう付
キンバレイローを使用してください。
(9) メタルの再使用
湯溜り・スプルー部分は、アルミナサンドブラスト処理を行って清掃した後、新品を半分以上加えることによって再使用できます。この時は、古いメタルを先に融解し、少し溶けた時に新品を加えてください。
(10) 適用陶材
スーパーポーセレントリプルＡ(ノリタケ)
ビンテージハロー（松風）
ＶＭＫ９５（ビタ）

【使用上の注意】
(1) 使用注意
①本合金の鋳造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鋳造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
②本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
③他の合金と混溶しないこと。
④本合金は、記載の用途以外には使用しないこと。
⑤本合金は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
(2) 重要な基本的注意
本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

***【保管方法及び有効期間等】**
*［保管方法］
歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**
製造販売元　日本歯研工業株式会社
住　　所：　〒141－0031
東京都品川区西五反田5－1－10
電話番号：　03－3492－0927